

日本損害保険協会の制作した動画で東北の水災害と地球温暖化の関係性について解説しています (2025/3/28)

テーマ：水災害, 温暖化

媒体：YouTube

URL：<https://www.youtube.com/watch?v=FnEVOAVfQ5M>

2025（令和7）年3月に、一般社団法人日本損害保険協会（以下、損保協会）が制作した「〈防災・減災〉東北の水災害にどう備える？～身近な対策を考えよう～」というタイトルの動画が公開されました（上記 URL）。この中で、災害科学国際研究所の須賀利雄教授（気象・海洋・宙空災害研究分野／変動海洋エコシステム高等研究所長）が、水災害と地球温暖化の関係性について詳しく解説しています。

損保協会は 1917 年に創設された業界団体で、外資系を除く全損害保険会社 31 社が加盟しており、損害保険の普及啓発や事故・災害・犯罪の防止・軽減などの活動を行っている他、損害保険業に関する規範や方針、ガイドラインなどを公開しています。防災に関しても活発な活動を行っており、同協会の YouTube チャンネルには、これまでに制作された多数の防災関連の動画が掲載されています。

今回公開された動画では、近年東北地方で毎年のように発生している、河川の氾濫を伴う大きな水災害について取り上げています。なぜ東北地方で大雨が頻発するようになったのかという疑問に対して、その背景には地球温暖化や海水温の上昇が関わっていると考えられること、更にはこのメカニズムが冬の大雪にもつながる可能性があることを、須賀教授が最新のデータと知見に基づいてとても分かりやすく解説しており、今後、より一層の対策が必要とされると述べています。この後、動画では山形県防災危機管理課の担当者が、ハザードマップの被害想定や、自治体ポータルサイトなどの防災情報を確認しておくなどの普段からの備えが大切であると強調しています。本学・当研究所ではこのような防災啓発活動に積極的に協力してまいります。



YouTube に掲載された動画



地球温暖化との関連を解説する須賀教授